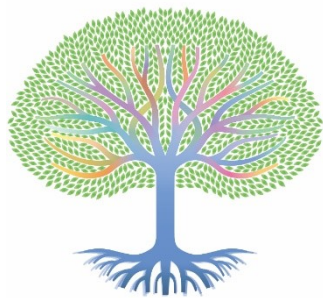




学び舎中学歴史教科書



# 授業づくり通信

2024年5月発行

第4号



チャップリン『モダン・タイムス』

## 目次

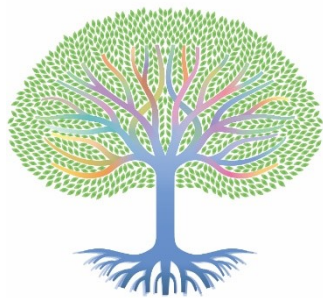
- 2025年版教科書 学びの力を未来につなぐ 編集部 2, 3
- 問いが生まれる授業づくりのヒント
  - 第5章(8)地鳴り山鳴り、のぼりを立て 山田 麗子 4, 5
- 学び舎教科書を使った授業実践
  - 「私につながる人々の歴史」を軸に近現代史を学ぶ 平井 敦子 6, 7
- 中学歴史的分野を「歴史総合」につなぐ
  - 『モダン・タイムス』で「大衆化」の時代を考える 鳥塚 義和 8, 9
- 授業のネタ
  - 大仏から見えてくる「銅」の歴史 千葉 保 10, 11



学 び 舎



学び舎中学歴史教科書



# 授業づくり通信

2024年5月発行

第4号



チャップリン『モダン・タイムス』

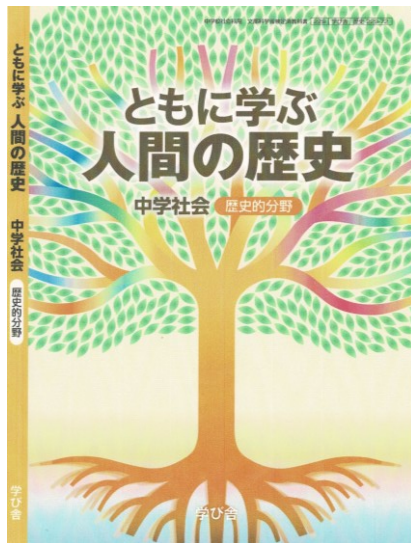
## 目次

- 2025年版教科書 学びの力を未来につなぐ 編集部 2, 3
- 問いが生まれる授業づくりのヒント
  - 第5章(8)地鳴り山鳴り、のぼりを立て 山田 麗子 4, 5
- 学び舎教科書を使った授業実践
  - 「私につながる人々の歴史」を軸に近現代史を学ぶ 平井 敦子 6, 7
- 中学歴史的分野を「歴史総合」につなぐ
  - 『モダン・タイムス』で「大衆化」の時代を考える 鳥塚 義和 8, 9
- 授業のネタ
  - 大仏から見えてくる「銅」の歴史 千葉 保 10, 11



学 び 舎

# 2025 年版教科書 学びの力を未来へつなぐ



## 新しい学び舎教科書を編集委員が語ります

高嶋道・千葉保・鳥塚義和・檜崎由美  
三橋広夫・安井俊夫(代表)・山田麗子(司会)

### ・山田

新しい教科書は3版になりますが、今まで一貫して子どもが主体的に学ぶ道筋を考えて編集してきました。

### ・安井

この教科書は「子ども用の本」です。重要語句を中心に説明調で書かれている教科書は、子どもが自ら読むには不向きでした。学び舎教科書はそこを一新。子どもが読む、何か感じる、疑問がわいてくる、そんなことができるようにつくりました。

奈良時代も、律令制など社会のしくみの説明から入るのではなく、各地の人びとの姿を描いています。まず、ムラの産物を背負って都の平城京へ運んでいく姿が図版とともに描かれます。安房(千葉県)の女性たちは麻で布を織り、さらに海に出て、鮑をとって乾燥させ、秋になるとこれらを都に運ぶ荷物にまとめます。このような人びとの働く姿から社会のしくみに目を向けていきます。人びとの姿がこの教科書の主題です。

### ・山田

歴史を身近に感じ、自分につながる歴史を学べるように、教科書には子どもが多く登場しますね。

### ・檜崎

2025 年度版では、日本列島の歴史を学ぶ始まりのページで、メイン図版も本文も野尻湖発掘に関わった子



③ ナウマンゾウの骨を発見した中学生  
(野尻湖発掘調査団蔵)

どもたちを主人公としました。調査団があきらめかけた最終日に、ナウマンゾウの骨を発見して歴史の扉を開いたのは中学生でした。原始・古代の学習では、子どもたちが遺物や遺跡に接して考古学者のような気持ちになって時代のイメージを描けるよう工夫しています。各時代で、子どもが、働き、学ぶ姿を描いています。また、現在、戦争が起きている国や地域の子どもの犠牲が伝えられていますが、教科書では、戦争で子どもが担わされた役割なども詳しく記述し、戦争と平和についての考えを深められるようにしています。

### ・山田

女性が歴史の主体として描かれていることも、教科書の特色です。

### ・鳥塚

3版では、自由民権運動を楠瀬喜多から書き起こしました。楠瀬は立志社の演説会の常連でした。納税をしているのに女性というだけで投票ができないのはおかしいと考え、わざと税を滞納しました。そして税を督促された時に、男女平等について問いただす文を県に提出しました。女性も男性も力を合わせたたたかいは高知の上町町会で実を結びます。町会議員が県と粘り強く交渉した結果、1880年に世界に先んじて女性参政権が実現するのです。植木枝盛はこれを『高知新聞』



③ 楠瀬喜多(1836~1920)  
(高知市立自由民権記念館蔵)

で知らせ、男女同権の国会をよびかけました。しかし、上町などの女性参政権は 1884 年の法改正によって廃止されてしまいます。この結末は子どもたちをゆさぶります。なぜ廃止されたのか、その後どうなっていくのか、ここで生まれた問いを深められるように、教科書では、その後の歴史も女性の視点で叙述しています。

#### ・山田

学び舎教科書は、執筆者の徹底した教材研究をもとに討論を重ねて編集しています。また、さまざまな授業づくりの研究会で深めた経験が土台にあります。その一つに日韓の教師たちの授業実践交流会があり、教科書の東アジアの視点を豊かなものにしていきます。



(5) 江戸を行く朝鮮通信使 — 朝鮮・琉球との外交 —

#### ・三橋

3版では朝鮮通信使の図版を『朝鮮通信使歓迎図』にしました。この絵は、1655年の四代将軍家綱の襲職祝賀を目的とした通信使のようすを描いた作品です。華やかな朝鮮人の登城行列が、町人地の本店や路地の見物人を楽しませています。朝鮮国王の国書を載せた厨子の後を正使が乗る輿が続きます。家光が急死した後、11歳の家綱が将軍職を継ぎましたが、由井正雪事件をはじめ幕府の存続を脅かす事件が相次いでいました。このような時期に、通信使の「来朝」を利用して幕府の威光が異国の王に認められ、その王が「朝貢」の使節を送ってきたと、特に朝廷に誇示したものと考えられています。子どもが興味をもって観察ができる図版から入り、朝鮮、幕府、民衆の側から通信使について考えられるようにしています。

#### ・山田

高校の歴史総合は、日本と世界のつながりを重視し、生徒が主体的に学ぶことをめざしています。この方向と学び舎教科書の特色が重なるという声を聞きます。

#### ・高嶋

9章(14)にんげんをかえせ—原爆投下—では、まず、原爆の残虐さと放射能による後遺症の苦しみを、実感できる記述です。その上で、側注の「被爆した外国人」に注目。「なぜ、こんなに外国人がいたのか」を国別に問えば、日清戦争以来のアジア侵略と植民地政策を俯瞰できるでしょう。また、囲みの「アメリカが原爆を投下した理由」では「原爆は正当化できるのか」「ソ連参戦にはアメリカとの約束があったのは、なぜ」と探究したくなるでしょう。ヤルタ協定を学べば、北方領土問題の背景にも気づく教材になります。

#### ・山田

ウクライナやパレスチナの戦火が止まず、かつてないほど国際秩序が崩れています。こうした中での教育、歴史教科書の課題をどう考えればよいでしょうか。

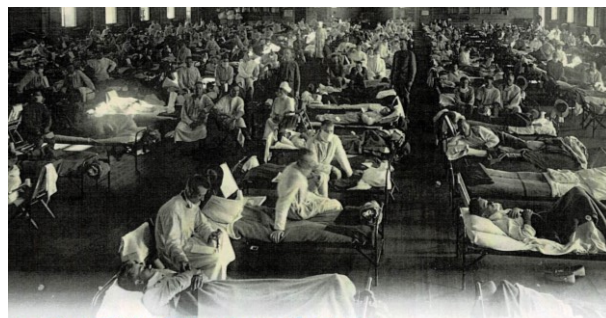
#### ・千葉

希望する先生に配信している「学ぶ会」発行のメールマガジン最新号に「兵器を考える」を書きました。様々な視点から兵器について子どもたちが考えるものです。兵器がなければ戦争はできません。戦争の表層でなく根源に目を向けていく学習が大切です。

学び舎教科書では、9章と10章に多くのページをあてて、戦争について記述しています。ウクライナとパレスチナについても、なぜこのような惨禍が起きているのか、歴史をたどって考えられるようにしています。

#### ・山田

本編最終ページは感染症をテーマにしました。第一次世界大戦中に発生し空前の死者を出した1918年のインフルエンザは、戦争が拡大させたといえます。一方、天然痘は、冷戦の中でも米ソははじめ各国が協力して根絶宣言を出すことができました。ここから学ぶことは多いです。学び舎教科書が、現代の課題について歴史をさかのぼって解きほぐし、子どもたちの学びの力を未来につなぐことを願っています。



(15) 感染症に立ち向かう — この世界でとち生きていく —

第5章 (8) 地鳴り山鳴り、のぼりを立て (教科書 pp. 122~123)

山田 麗子(元中学校教員)

授業づくりの視点

江戸時代に人口の8割以上を占めた百姓の生活や願いを知ることは、子どもたちにとって自分につながる学びとなります。百姓たちは暮らしに大きな不安が生じた時、どのように行動したのでしょうか。2025年版教科書では、百姓たちの姿により近づけるように、内容を改善しました。

百姓たちは、税の軽減や役人の不正を正すことなどを領主に訴願しました。通常の訴願・訴訟は処罰の対象になりませんでした。大勢で集まり(徒党)、城下などに押しかけて訴える行動(強訴)は処罰の対象となりました。§1には、犠牲を出さずに目的を達成した19世紀の庄内藩三方領地がえ反対一揆を、§2には、多くの犠牲を出した郡上一揆を取り上げました。

百姓たちは、村の中での争いや、村と村の争いを解決できない時にも領主に訴えました。個人で訴訟を起こした百姓もいます。§3には、一揆の訴状が学習教材になっていたことを、囲みには、貧しい百姓が娘のために起こした訴訟について記述しました。

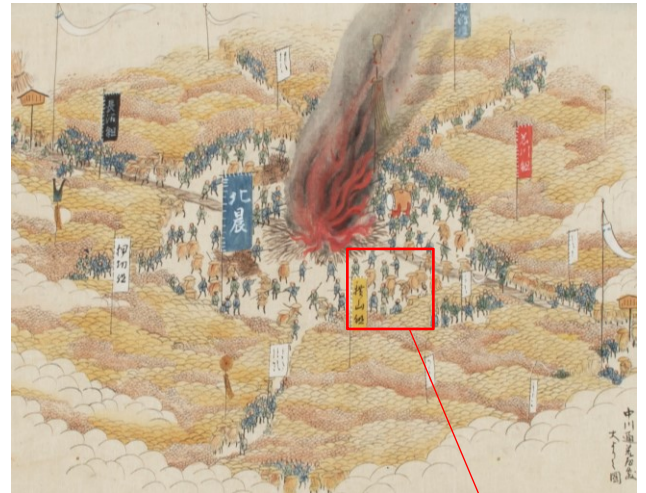
§1 江戸で駕籠訴、庄内で大寄[おおよせ]

○主な教材

絵巻『夢の浮橋』は、三方領地がえ反対一揆の直後から当事者が作成し、後世に残そうとした史料です。国立歴史民俗博物館の企画展示図録『地鳴り 山鳴り、民衆のたたかい300年』が、絵巻をさまざまな点から解説しています。数万人の参加者の声がとどろく大集会・大寄、緊張感あふれる駕籠訴、実行への決意を固めて誓約書を書く場面の絵などには、生徒たちを歴史の舞台に引きずり込む力があります。

○授業例

図1は1841年4月の大寄の絵です。「周囲に広がる丸いものは何だろう」と疑問が出て、生徒が絵巻の画像をズームすると、あちこちに笠を被り蓑を着ている人が見え、丸いものは笠を表しているとわかります。無数に広がる笠。集会の規模に驚きが生まれます。



教科書 図1 百姓たちの大寄



(拡大)

本文にあるように、参加者は合図により同じ行動をしました。合図に使われた大旗の先のひょうたんが黒い煙の中にうっすらと見えます。火の右に太鼓とバチを構える人もいます。太鼓が鳴ると一斉に鬨の声を上げた人びとの熱気が伝わってくるようです。

同じように、教科書の図2 駕籠訴と図3 誓約書を交わす場面の絵を観察し、気づきや疑問を出し合いながら、人びとの心情を想像し一揆の臨場感を味わいます。

一揆の要求と経過を整理し、なぜ一揆が成功したのかグループで考えます(「 」は生徒の発言です)。「駕籠訴をした人たちが誓約書で覚悟を固め、雪山を越え、通報されてもくじけずにやりとげた」「公事宿の人に駕籠訴の方法を教えてもらったから」「庄内で大集会をしているので江戸で失敗できない」「大集会での演出が素晴らしい。気持ちが高まる」「駕籠訴と大寄をくりかえす作戦を立てたこと」「金を出す人やリーダーがいて計画性と実行力がある」「他の藩の情報をもって味方につけられた」

さまざまな意見を出し合いながら、百姓の知恵と成長を実感していきます。

## § 2 厳しい処罰をこえて

### ○主な教材

学び舎授業づくりブックレットNo.17「訴訟する百姓たち」に、郡上一揆の年表、二日町村百姓傘連判状、郡上郡村々傘連判状、箱訴の訴状などについて書きましたので、参照してくだされば幸いです。岐阜県教育委員会「小学生の社会科 宝暦郡上一揆」のサイトなどから生徒が調べることができます。また、映画『郡上一揆』（2000年公開）が制作されており、前谷村定次郎と切立村喜四郎を主人公に、百姓たちのたたかいを臨場感あふれる映像で描いています。

### ○授業例

郡上一揆には二つの傘連判状が現存しており、観察すると、いろいろな疑問が出てきます。

「なぜ円形に署名したの」

「二日町村の百姓の全員が署名したのか」

「郡上郡の村のすべての村が署名したのか」

「傘連判状は誰がもっていたの」

「真ん中の円には何と書いてあるのか」

二日町村の連判状には本百姓のすべてを含む 66 人が署名しました。他の村でも連判状をつくりました。そして、村々の代表が郡上郡村々傘連判状に署名しました。郡の 125 カ村のうち 116 カ村が署名しました。

一揆の年表から、2つの連判状の作成時期が駕籠訴の後であることがわかります。一揆に加わる百姓は約 5000 人でしたが、弾圧が厳しくなると抜ける百姓が増え、参加者は 700 人ほどになっていました。しかし、駕籠訴の成功が伝わると村々は活気づき、一揆に加わる百姓が急増します。一揆は村から闘争資金を取り立

郡中の相談から決して抜けないことを誓います。もし抜けたらどんな目に合っても恨みません



教科書 図4 二日町村百姓傘連判状 1756年3月24日

郡上郡のすべての百姓は殿様を敬い申し上げます。私たちが志を一つにしたことすべてにおいてお願いを覚えることは決してございません。



郡上郡村々傘連判状 1756年4月14日

て組織的に行っていました。丸い署名からは一揆から抜けない、抜けさせないという切実感が伝わります。

円形に署名した理由を「リーダーがわからないようにした」という意見が出ますが、実際にはリーダーは厳しい処罰を受けました。二日町村百姓傘連判状は、箱訴をして死罪となった二日町村伝兵衛(42歳)の子孫に伝わりました。郡上郡村々傘連判状は、獄門になった前谷村定次郎(31歳)の子孫に伝わったものです。遺族はどのように隠し持ってきたのでしょうか。連判状からは、遺族の断ちがたい思いが感じられます。

郡上一揆は成功したといえるかと問いかけます。

「こんなに重い犠牲を出して成功といえるはずがない」

「犠牲を出さずにやる方法は他になかったのか」

「藩主は領地を没収されたのだから成功といえる」

「他の藩主は税の取り方に気がつけたのではないか」

「税の取り方を訴えて命を取られるなんて酷い」

さまざまな考えが出ます。この問いに正解はありませんが、中学生が自分なりに郡上一揆というできごとを評価し、歴史の見方を深めるきっかけになります。

## § 3 訴訟を学ぶ百姓たち・囲み

### ○主な教材

§ 3は、八鍬友広『闘いを記憶する百姓たち』（吉川弘文館）を典拠としました。17世紀に出羽国（山形県）白岩郷で起きた一揆の訴状が、学習教材として使用されていたことは、教室に驚きを生みます。

教科書の囲み「娘のために訴えを起こした飴屋兵助」は、山田耕太「松代藩領の盲人」「藩地域の構造と変容」（岩田書院）を典拠としました。

### ○授業例

§ 3では、図5「白岩一揆の訴え状を写した帳面」で読める字を出して文の意を解き、なぜ一揆の訴状が教材になっていたか考えます。36人が処刑された一揆を歴史として学ぶとともに、子どもたちは将来に備えて、訴訟の用語や表現などを訴状から学んでいました。

囲みでは、印象に残ったところを出し合います。貧しい百姓が不当と思ったことを堂々と藩に訴える姿は生徒の心に響きます。娘のいそは中学生の年齢であり、娘の進路のためにたたかった父親として共感をよぶことでしょう。歴史の人びとを身近に感じるとともに、江戸時代に広く訴訟が行われていたことがわかり、時代のイメージが変わっていく学びになります。

# 学び舎教科書を使った授業実践

## 「私につながる人びとの歴史」を軸に近現代史を学ぶ

平井 敦子（北海道公立中学校教員）

### 第10章〈歴史を体験する〉一人ひとりの歴史・家族の歴史（2021年版教科書 pp. 278-279）

中学校の授業は、時数との闘い。この最終章・章末課題にたどりつくのは容易ではない。しかし、この調べ学習課題は15歳の中学生にとって、一時の歴史学習にとどまらない深みと広がりを与えてくれるはずだ。

#### 1. 私につながる人びとの歴史を調べよう

長年この調べ学習を課しているが、実施時期は中学2年生の冬休み、としている。年始には家族、親戚と会い語らう機会も多いので、聞き取りには適している時期だ。そこで、12月になったら「冬休みに調べてほしいことがあるんだ」と予告しておく。

p. 278 を使い調べ方の説明をした上で、ご家庭に協力を依頼する文書を配布する。内容はプライバシーに関することであり、また子どもに語りたくないこともあるだろう。それでもなぜこの調査をさせるのか、学習の意図を明確にして「お願い」するのだ。そして調査困難であるならば、別課題も用意して、成績等への懸念をもたれないように準備しておく。

<保護者向けプリント概要>

○ねらい「社会・歴史をつくりあげてきた先人たちの歩みを、自分と密接につながる人びとの歴史として実感し深く近現代史を理解するとともに、社会の主体者としての意識を形成すること」

○留意事項

- ・調査が困難な場合に別課題を選択でき、どちらの課題においても成績不平等はない。
- ・子ども自身が関心を持ち、少しでも知ることの意味がある。
- ・授業に資料として反映するため、「公開」「非公開」「匿名」の選択ができる。
- ・激動の時代であり、家族とはいえ、語りたくないこともあるので、無理強いしない。
- ・すべての人の人生に価値があることを前提に、どのような人生、身分、職業であっても不自然な身構えや偏見の無いよう指導し留意する。

#### 2. 近現代の学習を生徒につながる人びとの歴史とともに

調査用紙には、教科書掲載の「100年シート」（今年は120年シートにしたが）のほかに、調査の中で深掘りしたい歴史的な出来事の「追求調査シート」と調査結果をふまえた「考察・感想シート」をつける。北海道で実践している私はさらに「100年シート以前」の話と「移住事情」を記すワークシートも加えている。移民を出している側は、地域の間人が出て行ったからといって記憶に残ることはないが、移住してきた側には、語るべき事情を持っている。屯田兵、土族移民、結社移民、災害被災民、そして土地を失った小作農。そこに学ぶべき近代史がある。

さて、冬休み明けに集まってきた課題。できれば「地図」に落とし込みたい。北海道人の「移動」はもちろんダイナミックだが、津軽海峡以南の都府県でも、実は大きな移動があるのではないかと。農村から都会へ、はたまた朝鮮、満州、樺太、南洋諸島、欧米にも「私につながる人」の足跡がある。

3学期の授業は、幕末あたりからだろうか。友人たちにつながる人の歴史そのものが、近現代を学ぶ道しるべとなって授業に登場してくる。

今年は、屯田兵や開拓移民はもちろんだが、シーボルトに学んだ医師、その子息として西南戦争で戦死した軍医が早速授業で登場した。当該の生徒にとっては、自分にとって5代も前の遠い先祖の「運命」が、歴史の中

で線となり、面となって、迫ってくる。同じ教室で学ぶ生徒にとっても、その出来事は「今、身近にいる友」とつ



ながって迫ってきたに違いない。

日清戦争よりも前に「朝鮮に渡って一旗揚げようとした先祖」は、東学農民戦争をどう見たのだろう。先祖が「山東省で銀行員として働いた」のはどういう情勢下だったのだろう。なぜ曾祖母は「ハワイで生まれた」のだろう。「満鉄の幹部だった先祖」はどんな苦難で引き揚げたのだろう。そして、本当にすべての家族の歴史に「戦争」がある。国策としての戦争は「無関係な国民」などどこにもいなかったことが、教室にいる多くの生徒の調査で見えてくる。戦死であれ、生還であれ、授業がすすむにつれて、調査したその事実の背景に何があったのか、何をしてきたのか、されてきたのか。残された者達がどう生きていたのか、そして今「自分がここにいる」ことの意味も、静かに授業に参加しているだけにみえる生徒それぞれに、ひっきり、考え続けている。そういう近現代史授業の時間が続く。

私自身も、これまで多くの生徒たちに「歴史の現場」に連れて行ってもらった。この経験がまた、次の世代の授業で「先輩の中におね…」と語る生きた史料として反映できているのだ。

### 3. 調査を終えて

生徒の感想は、できるだけまとめてプリントにして配布する。管理職や教職員にも配布することで、学びの意味について、学校という空間で理解が広がるので、その他の実践もすすめやすい。

- 今回の取材で石川県にも自分のルーツがあると知りました。それ故に今度の地震に胸が痛みます。
- 父方の祖母に取材を依頼すると「こういうことってとても必要なことだね。」と快く引き受けてくれました。正月にインタビューをすると、父や母もみんな懐かしそうに話をしてくれました。
- ひいおばあちゃんは従軍看護婦の時「あなたは帰らなさい」と言われて帰ったら、その後パラオが攻撃されて多くの人々が亡くなったそうです。もしその時にひ

いおばあちゃんが帰っていなかったら…。

- おばあちゃんに「戦争中の記憶は忘れたくても忘れられない。忘れたらダメなものなんだよ」と言われた時少し泣きそうになりました。
- 札幌のオリンピックはとても前のことだと思っていたが、母が生まれる少し前だと知りびっくりした。数字だけだと昔のことに感じたが、親たちが生まれた年と比べると、そうではないとわかった。

自分もしっかり生きなきゃ、子どもにも伝えたい、自分の悩みや苦労なんて、と生徒は色々なことを感じている。今は「昔」の歴史を学習しているが、バトンを自分が引き継いでいること、未来につながるための学習だと感じてくれているのだろうと思う。ぜひ、皆さんも実践してほしい。





## 『モダン・タイムス』で「大衆化」の時代を考える

鳥塚 義和（元高校教員）

### 1. 授業

#### 1. 映画『モダン・タイムス』の視聴（2時間）

次の課題を示し、2時間続きで視聴する。

問. チャーリーはどこで働いたか、空欄を埋めよ。

- ①（エレクトロ鉄鋼会社工場）→ノイローゼで入院
- ②（造船所）→ヘマをしてクビ
- ③（デパート）→強盗を手引きしたと疑われてクビ？
- ④（工場）→ストライキの中で、警官に石を投げたと疑われて逮捕
- ⑤（カフェ）→歌と踊りで大うけ。しかし二人は…時に大笑い、楽しくみられる。感想を聞くと、「おもしろい」「笑えた」「声なしでの表現がすごい」。

#### 2. 時計について考える（3時間目）

冒頭から、工場での流れ作業が始まり、トイレで休もうとして社長に注意されるシーンまでを見せる。

問. 「変だなあ」と思ったことを挙げてみて。

「巨大な時計が最初に出てくる」「羊の群れと地下鉄の出入口から出てくる労働者がダブる」「羊の群れの中に1匹だけ黒い羊がいるけど…」「ナットを締めているけど、何を作っているのか」「トイレに入る前と後にもタイムカードを押してる」「社長がモニターでトイレまで監視している」

これらの疑問についてどう考えるか、意見交換する。  
問. 他に時計や時間のことをとりあげたのはどんなシーンだったか。

「警官に追いかけられ、工場に逃げ込むときもタイムカード」「デパートでも、彼女との語らいを中断してタイムカード」「第二の工場で機械に巻き込まれた親方を救い出そうとするが、昼食休憩時間には機械が止まる」「懐中時計がプレスされてぺったんこ」それぞれのシーンを映して見せる。

問. チャップリンはこの映画で「時計」をとりあげて、どんなことを言いたかったのだろう。

#### 3. ベルトコンベアーについて考える

社長がスピードアップを命じ、チャーリーの仕事がきつくなり、ついに機械に巻きこまれ、頭がおかしくなってあばれまわるところまでを見せる。

問. 社長はなぜスピードアップを命じたのか。

問. チャップリンはこのシーンでどんなことを言いたかったのか。

フォードシステムの工場の映像か写真を見せる。チャップリンはフォードの工場を見学したことがあり、また農村出身の若い労働者が神経衰弱になってしまうという話を記者から聞き、それがこの映画をつくるきっかけになったことを紹介する（『自伝』）。



1913年、フォード・ハイランドパーク工場での発電機組立ライン

#### 4. 百貨店とマイホームについて考える（4時間目）

チャーリーと少女が夜の百貨店（デパート）で遊びまわるシーンを見せる。

問. 何の売り場で、どんなことをしたか。

1階（食品）売り場で（サンドイッチ）と（ケーキ）を食べる。

4階（おもちゃ）売り場で（ミッキーマウス）の人形を手にとり、（ローラースケート）をやる。

5階（寝具）売り場で（コート）を着て、（ベッド）で寝る。

チャーリーは（女性服）売り場で眠り込んでしまう。

次に、チャーリーと少女がバラックで暮し、食事をするシーン、チャーリーがマイホームを夢見るシーンを見せる。

問. 憧れのアメリカ式の「便利で豊かな生活」に欠かせないモノは何だろう。

「郊外の一戸建て住宅」「庭」「肉料理」「電気」「電化製品」「ラジオ」「自動車」「百貨店」…

問. 当時のアメリカでこういう生活ができたのはどういう人びとだろうか。

問. 今の私たちの社会には、『モダン・タイムス』と共通する問題があるだろうか。話し合う。

## II. 理論

### 1. 「大衆化」の時代とは

「大衆化」の時代をどうとらえるか。諸説あるが、ここでは成瀬龍夫「独占資本主義と国民生活様式」(『彦根論叢』第231号、滋賀大学経済学会、1985年)に学びながら、そのアウトラインを描いてみよう。

20世紀は石油と電力、自動車の時代である。巨大企業が市場を独占する段階になると、大規模工場が建設され、大量生産が行われる。部品の互換化と作業工程の分割により、流れ作業による大量生産が可能になった。大量生産は、大量販売、大量消費を前提とし、それらが一体となった体制がつけられる。

大量販売に適合した代表的な小売販売の形態が百貨店である。またラジオなどを通じた広告宣伝活動は人びとの消費の欲望をかきたて、自動車、ラジオ、洗濯機などの家電製品をクレジットで購入させる。

その担い手は、都市に住む、増大した新中間層(ホワイトカラー)であった。家事労働(料理、洗濯、裁縫など)の家庭外への移行が進み、家庭が大量生産された商品の大量消費の場となった。既婚女性も職場に進出し、夫婦共働きが一般化していった。

こうして「豊かな」アメリカ的生活様式が1920年代に成立し、「自動車と持ち家」によるミドル・クラスの仲間入りが一般大衆の目標になった。そして、アメリカ的生活様式は、第二次大戦後ヨーロッパや日本に輸出されて経済成長を促し、1960年代以降全世界にひろく普及していき、グローバル化した。普遍的一般的性格をもつ生活様式なのである。

### 2. 『モダン・タイムス』が描いた「大衆化」の時代

チャップリンは経済学の本を読み、「経済解決策」という論文を書いた。そして、当初「大衆」という題名で書き始めた脚本は、『モダン・タイムス』に変わり、大衆化の時代に典型的なく生産と消費の場をとりあげて、ていねいに描くものとなった。

生産に関わる場は、巨大鉄鋼工場でのベルトコンベアーによる流れ作業であり、モデルはフォードの工場であった。社長(ヘンリー・フォードそっくり)は極度に合理化を求めてラインの速度を上げるが、それは労働者に労働強化と精神の破壊をもたらした。タイムレコーダーとテレビモニターでの監視という労務管理も労働者を追いつめる。ちなみにテレビモニターはまだ実用化されておらず、チャップリンが未来予測で登場させた技術である。

消費に関わる場は、百貨店の売り場。モデルは、メイシーズの9階建てのニューヨーク店である。

そして、大衆化の時代に適合した生活様式として「アメリカ的生活様式」を描いた。郊外の庭つき一戸建ての住宅と電化製品に囲まれた便利な生活。デパートには大量の商品があふれ、購買意欲をそそる。

しかし、それは労働者であるチャーリーと少女にとっては、現実には手に入らないものであった。夢に出てくるあこがれのマイホームであり、人目のない夜に遊びまわる場所ではなかった。

#### ■参考文献

水川隆夫『チャップリンと現代』シネフロント社、1998年

大野裕之『チャップリン 作品とその生涯』中公文庫、2017年

近代化		大衆化	
時間	機械式時計の普及 工場の時計塔	『モダン・タイムス』(1936年公開) 舞台はアメリカ 時計による時間の管理 時計の文字盤、タイムレコーダー、プレスされた懐中時計	
産業 経済	産業資本 産業革命 イギリスから ドイツ・アメリカへ 第1次 第2次 綿工業 → 鉄鋼・化学 蒸気・石炭 → 電力・石油 鉄道 自動車 大砲・軍艦・ビル 農村から都市へ人口移動・集中 資本主義社会 資本家	独占資本 <生産> 巨大な工場、機械による大量生産 ベルトコンベアーによる流れ作業・部品の互換化、作業工程分割、単純作業 労務管理・タイムレコーダー、テレビモニターによる監視 ムダを省く合理化(労働生産性の上昇) → 労働強化 <消費> 新中間層(ホワイトカラー)の増大、アメリカ的生活様式 自動車(T型フォード)、電化製品 ラジオ、テープレコーダー、セールスマン → 広告宣伝による欲望の創出 クレジットによる大量販売、大量消費(大衆消費社会) デパート、エスカレーター 郊外一戸建住宅 バナナと紅茶(植民地や勢力圏から)	私 た ち
労働	労働者 スラム(チャップリンの生い立ち) 労働運動、8時間労働制 → 余暇の増大 社会主義、アメリカへの移民	大恐慌、失業者、貧困 デモ、ストライキ、犯罪、刑務所、孤児院 女性の職場進出 <b>主人公：チャーリー＝労働者</b>	
政治	市民革命(人権＝自由権、民主主義)	普通選挙、女性参政権、社会権	
世界 シ ス テム	植民地の拡大 『八十日間世界一周』 原料供給地 商品市場	帝国主義 → 第一次世界大戦 資本の輸出 新兵器、徴兵制、総力戦 工場・鉱山 植民地の民族解放運動(チャップリン、ガンジーと会う)	

## 大仏から見えてくる「銅」の歴史

千葉 保 (元教員)

### 1. 奈良の大仏

記録によると、752年に開眼された奈良の大仏(図1)には熟銅(精錬した銅)を739,560斤(499t)を使用したという。

大量の銅を日本国中から集めたのである。当時の銅の産地は、因幡(鳥取)、周防(山口)、武蔵(埼玉)、山背(京都)、備中(岡山)、備後(広島)、長門(山口)、豊前(福岡・大分)等である。

長登(ながのぼり)銅山など長門国からは、熟銅7,638斤、未熟銅2,626斤、生銅16,210斤が送られた記録が残っている。

奈良の大仏の表面は金メッキされていたが、中の金属材質は次の通りと測定されている。

	上野氏測定	岡田氏測定
銅	91.60%	91.77%
錫	2.46%	1.38%
鉛	1.61%	1.55%
鉄	0.37%	1.55%

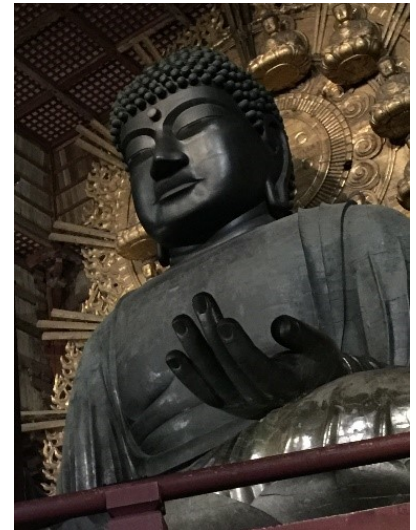


図1. 奈良の大仏

銅が91%あることがわかる。長登銅山の歴史を見ると、8世紀初頭に国の採銅・製銅官衙が置かれ、和同開珎の原料銅を産出し、8世紀中頃には奈良の大仏用の料銅を盛んに産出した。そのため、9世紀頃から銅の生産が減少し、鉛の生産に切り替わっている。

### 2. 皇朝十二銭と宋銭

日本で铸造された銅銭は、皇朝十二銭と呼ばれ、708(和銅元)年から963(応和3)年にかけて、12種類の銅銭が発行されている。「和同開珎」(図2)から最後の皇朝銭「乾元大宝」(図3)958年までの発行だ。そして963(応和3)年には铸造が終了している。日本が皇朝銭を铸造できなくなったのは日本の銅山が枯渇したためである。

平安末期から鎌倉時代は末法の世である。人々は仏教に救いを求めるが、銅不足は儀式に使う仏具の不足も招いた。

梵鐘は10世紀後半から12世紀半ばまで铸造がなく空白期となったようだ。そこで日本は中国(北宋・南宋)から大量に宋銭(図4)を輸入した。

鎌倉時代に流通した銅銭の8割は200年前に製造された北宋銭だった。日本は金を輸出して、宋銭を輸入していたのである。



図2. 和同開珎  
直径約24mm  
(実物大)



図3. 乾元大宝  
直径約19mm  
(実物大)

### 3. 鎌倉の大仏

では1252年に鑄造が始められた鎌倉の大仏(図5)はどうだろう。  
鎌倉大仏の金属組成は次のとおりである。

	銅 (Cu)	錫 (Sn)	鉛 (Pb)	鉄 (Fe)
大仏螺髪	68.07%	8.64	22.06	0.13
胸部吊環	69.25	9.45	20.24	0.04
膝部鑄張	73.99	6.12	19.29	0.03
台座横	69.31	8.69	21.18	0.02

北宋銭の金属割合(%)は次の通りで、鎌倉大仏と酷似する。

	銅 (Cu)	錫 (Sn)	鉛 (Pb)	鉄 (Fe)
皇宋通宝	66.0	6.7	26.0	0.02
熙寧元宝	72.1	9.9	17.4	0.01
天祐通宝	66.6	7.7	25.1	0.09
天聖元宝	70.3	9.6	19.6	0.05

別府大グループの鎌倉大仏分析調査結果でも、「鎌倉大仏の原材料は中国華南産であり、渡来銭であろう」と結論付けている。鎌倉大仏の発願は、頼朝の意を受けた稲多野局と言われる。願成就のため全国を行脚し浄財を集めた僧・浄光の行動をも裏付ける結果である。

宋銭を溶かして鎌倉大仏を鑄造したことが見えてくる。

### 4. 江戸時代の銅産出と貨幣

日本で新しい銅山(別子銅山、足尾銅山)が発見されたのは江戸時代に入ってからであり、寛永通宝(図6)が発行された。

寛永通宝は、日本だけでなく当時銅不足になった中国へも輸出され、通貨として使用された。中国では壺に入れられた多量の寛永通宝が発掘されている。

現代では、半導体製造に欠かせないのが銅である。日本は数か国から銅を輸入して対応している。世界の国々と常に仲良くして経済協力していくことが求められている現代なのである。



図4. 宋銭(実物大)

太平通宝 976年  
景德元宝 1004年  
天聖元宝 1023年  
元祐通宝 1086年



図5. 鎌倉の大仏



図6. 寛永通宝(実物大)

学び舎のホームページには「授業づくり・調べ学習のためのリンク集」があります

450を超える日本と世界各地の博物館・資料館などのホームページにクリック一つでつながります。

#### ●チャップリン

チャップリンズワールド(スイス・コンシエシュルヴヴェイ)  
ヘンリー・フォード博物館(アメリカ・ディアボーン)

#### ●大仏と銅

東大寺(奈良県奈良市)  
造幣局(大阪府大阪市)  
鎌倉歴史文化交流館(神奈川県鎌倉市)  
国立海洋文化財研究所(韓国・木浦市)

授業づくりリンク集



## 「ともに学ぶ人間の歴史」授業ブックレット No.17

### ● 新しい学び舎教科書で主体的な学びを広げる



子どもと学ぶ歴史教科書の会編集委員会 学び舎編集制作部

- 子どもたちの図版からはじまる歴史の授業  
第1章(7)湖にゾウを追う 榎崎 由美
- 訴訟する百姓たち  
第5章(8)地鳴り山鳴り、のぼりを立て 山田 麗子
- 女性と自由民権運動  
第7章(5)国会を開こう 鳥塚 義和
- 「独立マンセー(万歳)」の授業をつくる  
第8章(10)独立マンセー 三橋 広夫

#### バックナンバーも販売中

#### 授業づくりのヒントがいっぱい

- ☆ 生徒たちがさまざまな問いを生み出す
- ☆ 「モノ」教材を活用した体験学習
- ☆ 歴史事項や人物を深ぼりする
- ☆ 教科書をもとにした平和学習



A5版 700円＋税 ご注文は学び舎へ

E-mail: [manabisha-ek@cap.ocn.ne.jp](mailto:manabisha-ek@cap.ocn.ne.jp)  
電話: 042-512-5960



発行 ● 株式会社 学び舎  
住所 ● 〒190-0022  
東京都立川市錦町3-1-3-605  
TEL ● 042-512-5960 FAX ● 042-512-5961  
E-mail ● [manabisha123@cronos.ocn.ne.jp](mailto:manabisha123@cronos.ocn.ne.jp)  
ホームページ ● <http://manabisha.com>

(株)学び舎HP TOP

授業づくりリンク集

